



おおくち しろう

大口司郎 議員

OGUCHI Shiro

Q. 総合計画実行への決意は

A. 全力でまちづくりに努める

Q

新型コロナウイルスの感染が広がり、今や全世界にまん延した。豊山町は辛うじて感染者が発生していない地域ではあるが、国や県の要請により三密防止策などがとられ、教育関係をはじめ、多方面にわたり住民生活が制限された。現在、住民生活は少しずつ戻ってはいるが、今年度中は樂觀を許さない状況が続くと想定されている。そのようなか、新型コロナウイルス感染症対策や支援策が町独自でも示されており、住民の安心安全が担保されている。そこで今後も住民への長期的な支援策を進めていく考えはあるのか。

A

町長
新型コロナウイルス感染症は、再び拡大する懸念がある。今後、気を緩めることなく感染拡大防止に努めながら、国や県の施策を注視しつつ、町として適切に対応する。

Q

今年度から始まった第5次総合計画は、住民の生活向上が盛り込まれていると考える。この総合計画を軌道に乗せ実行へと導く決意を問う。

A

町長
第5次総合計画の策定に当たっては、多くの町民の皆様に関わっていただいた。この計画は、町の将来像で

ある二人ひとりが輝く暮らし豊かなアーバンビレッジ」を実現するため、今後10年の施策をまとめたものである。私は、策定の最高責任者として、施策を確実に実行し、町民の皆様の誰もが住みやすい、住み続けたいと思っていただけのような、魅力あるまちづくりに今後も全力で努めてまいり覚悟である。

